

令和6年度愛媛県中予保健所

感染症対策マネージャー養成研修会（ベーシックコース）

# 【確認〇×クイズ】

（全10問）



挑戦してみましよう！



# 感染症の基礎知識

---

Q1：

インフルエンザの治療には、  
抗菌薬を使用する。○か×か



# 感染症の基礎知識

A1 : X

インフルエンザは  
ウイルス感染症です。  
ウイルス感染の治療には、  
抗菌薬は使用しません！



## 感染症の基礎知識

---

Q2：

ノロウイルス感染の入所者のケアをした後は、流水による手洗いをを行う。○か×か



## 感染症の基礎知識

---

A2 : O

ノロウイルスはアルコールが効かないため、  
手指衛生は流水手洗いを行う。



## 手指衛生

---

Q3：

感染症のない患者さんの病室内清掃の後でも手指消毒をする必要がある。○か×か



# 手指衛生

A3 : O

患者さんの感染症の有無にかかわらず、全ての患者さんに対して手指衛生を含めた標準予防策を行う必要がある

手指衛生5つのタイミングの5：  
患者周辺環境への接触後のタイミング



## 手指衛生

---

Q4：

擦式アルコール手指消毒薬は、  
石けんと流水による手洗いと比較し、  
手荒れしやすい。○か×か



# 手指衛生

A4 : X

擦式アルコール手指消毒薬には皮膚保護・保湿剤が含まれており、石けんと流水による手洗いに比べて手荒れしにくいと言われている

手指衛生方法	長所	短所
擦式アルコール製剤による手指消毒 	<ul style="list-style-type: none"><li>・いつでもどこでも実施できる</li><li>・実施する人の技術にかかわらず、微生物除去効果が期待できる</li><li>・短時間で効果が出る</li><li>・保湿剤の配合等により石けんと流水による手洗いよりも手荒れしにくい</li></ul>	<ul style="list-style-type: none"><li>・一部の微生物に対して効果が低い</li><li>◎芽胞形成菌 (デフィシル菌やウェルシュ菌など)</li><li>◎アルコールに抵抗性のある病原体 (ノロウイルスやロタウイルスなど)</li><li>・有機物などの汚れがあると効果が減少する</li><li>・手荒れがあると痛く感じる</li></ul>

引用資料：INFECTION CONTROL別冊 高齢者施設&療養型施設“誰でもわかる”感染対策マニュアル

## 感染予防策

---

Q5：

おむつ交換を複数の患者に連続して行う場合、手袋は交換しなくてよい。○か×か



## 感染予防策

A5 : ×

手袋をつけっぱなしにすると手指衛生の機会が失われ、他の患者や環境に微生物を拡げる可能性がある



## 感染予防策

---

Q6：

手袋・マスク・ガウンを脱衣する際、  
一番初めに外すのはガウンである。

○か×か

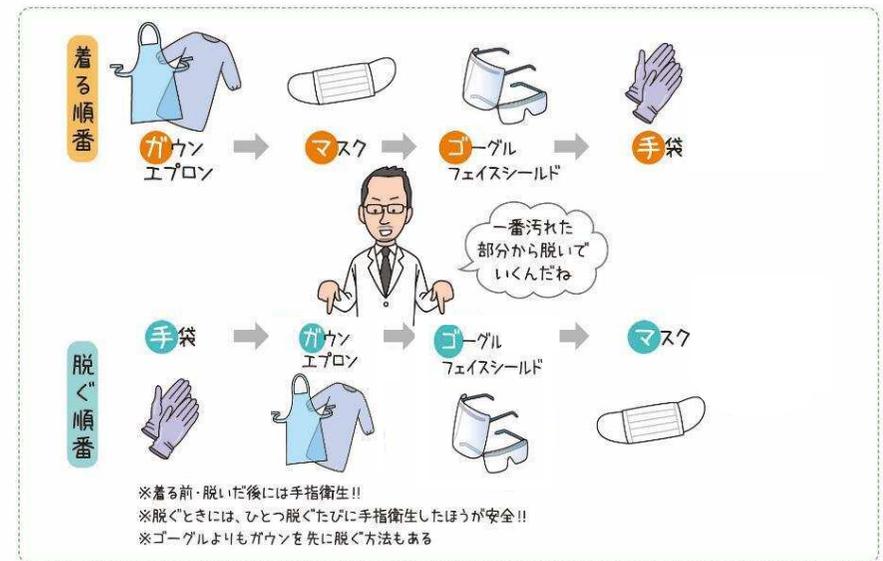


# 感染予防策

A6 : X

汚染されている可能性の  
高い順番に外すことが基  
本である

一番汚染している可能性  
が高い手袋から外してい  
く



## 環境整備

Q7：

環境清掃は一番汚れている箇所から始めて、  
汚れをしっかりと落とすため一度拭いた箇所  
を何度か往復して拭くとよい。○か×か

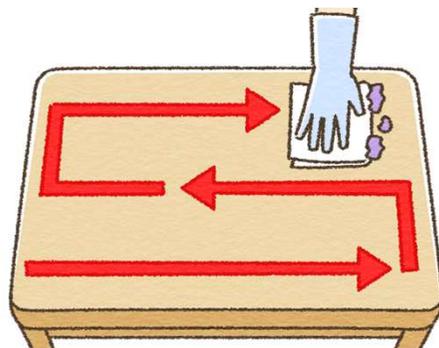


## 環境整備

A7 : X

環境清掃は清潔箇所から汚染箇所へ向かって一方向で行う

汚染を広げないため、拭いたところには戻らない



## 環境整備

---

Q8：

ノロウイルスと診断された利用者が使用している部屋の環境整備は、  
除菌のためアルコール含有クロスを用いて行う。○か×か



## 環境整備

A8 : ×

アルコールはノロウイルスに対して消毒効果が弱いため、次亜塩素酸ナトリウム（またはペルオキソー硫酸水素カリウム製品）を用いる



# 健康管理

---

Q9：

職員が体調不良時に無理して出勤しない事は、感染症を持ち込まない対策として有効である。○か×か



# 健康管理

A9 : O

入所者さんに最も近い距離で日常ケアを行う職員からの感染症の持ち込みリスクは高いため、体調不良時は無理に出勤しないようにしましょう。  
体調不良時に職員が相談し休みやすい環境を整えましょう。

## 体調不良時は出勤しない！

咳が出ているのに休まずに出勤してしまうと、職場で感染を広げることになります。自分の平熱を把握し、毎朝、検温をするなど体調確認をしてください。  
個人の努力だけでなく、体調不良の時には出勤しない体制を施設として決めておきましょう。

## 長い髪はまとめる！

髪が顔にかかる、汚れた手でつい触ってしまうことがあります。  
長い髪は、仕事中は後ろも前もきちんとまとめましょう。髪を触る癖がある人は、自分の手の動きを意識しましょう。

## 爪は短くネイルはしない！

割れた爪、長い爪の裏、皮膚の付け根等は病原体が付着しやすいところです。ネイルは表面がきれいでも、手洗い後に自爪と皮膚の間に病原体が残りやすいです。  
爪は短く整え、ネイルはせず、爪が割れやすい人は、爪の保湿も忘れずにしましょう。

## 手のケアにも気を配る！

荒れた手は病原体の温床です。水がしみたら洗う回数も減らしたくなります。  
手洗いの後はハンドクリームを塗る等、保湿も心掛けましょう。ささくれは指でひっぱらずに必ず切ってください。美しい手は感染症にも強いということを認識しましょう。

## 仕事中は指輪や時計を外す！

指輪等を付けていると、その部分は洗えません。病原体を施設内で運んだり、家に持ち帰らないためにも、仕事中は外しましょう。

## 仕事が終わったら着替える！

家から仕事着で出勤したり、勤務中に着た服のまま帰宅していませんか。勤務中の汚れがついているかもしれないその服で、自宅でご飯を食べたり、友人と会ったり…。外の汚れを持ち込む可能性もあります。  
仕事着は出勤してから着用し、業務が終わったら、必ず着替えて帰りましょう。

## エプロンは交換する！

排泄の介助等は、病原体が介護者の身体につく可能性が高い行為です。  
感染リスクが高いケアを行うときは、使い捨てのビニールエプロンを使いましょう。  
通常業務で使用する布エプロンも毎日洗濯してください。

## 健康管理

---

Q10：

入所者に発熱や咳など感染症を疑う症状があったが、診断がついてから感染対策を開始した。○か×か



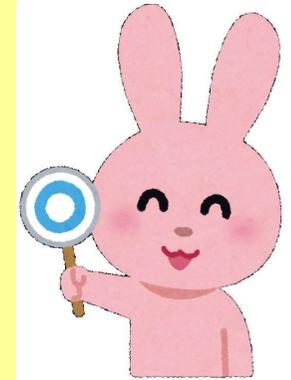
# 健康管理

A10：×

診断がつくまでの間にも感染拡大する恐れがあるため、疑いの段階から、个人防护具の着用や移室の検討など感染対策を開始しましょう。他にも同じような症状の人がいないか確認しましょう。



全問正解出来ましたか？  
間違えた問題があれば、  
それぞれの講義をもう一度見直して  
確認しておきましょう！



答えは各講義の中にあるよ！

Q1・Q2	⇒	講義1	感染症の基礎知識
Q3・Q4	⇒	講義2	手指衛生
Q5・Q6	⇒	講義3	基本的な感染予防策
Q7・Q8	⇒	講義4	環境整備
Q9・Q10	⇒	講義5	入所者・職員の健康管理